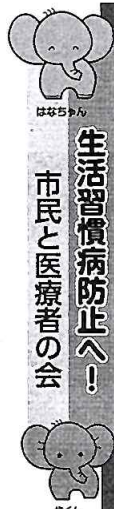


小象の「ニクニク」で「行こう」



生活習慣病防止へ！

市民と医療者の会

またいきなりクイズです。糖尿病患者さんでは、すい臓から分泌されて血糖を下げるホルモンであるインスリンを産生する能力が低下し、インスリンの作用不足で高血糖になっていきます。失われたインスリン産生能力を治療によって復活させて、糖尿病を治すことは可能である。○か？

糖尿病は1型糖尿病、2型糖尿病などいくつかの型があります。いずれも、すい臓が十分なインスリンを出せなくなり慢性的な高血糖が起こっています。

1型糖尿病は、すい臓のインスリンを作る細胞が破壊されて、インスリンが出なくな

る病気です。2型糖尿病はインスリンを作る細胞がくたびれてしまい、十分な量のインスリンが出せなくなっています。

移植・再生で糖尿病治療

糖尿病は、コントロールはできて治すことはできないと考えられています。これを解決するためには、すい臓の弱ったインスリン産生細胞を復活させることが必要です。これは大変難しい問題ですが、すい臓移植・すい島(すいとん)移植という方法があります。

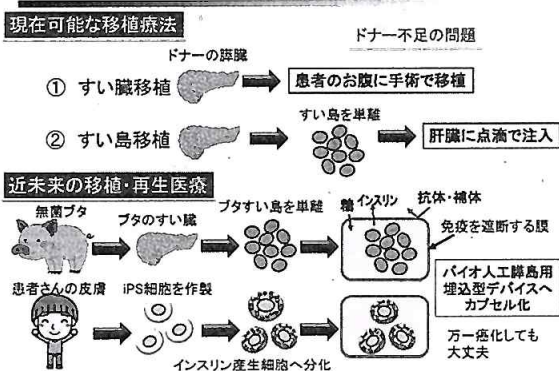
すい臓移植は、コントロールは重なヒトのすい臓を使うため、現在ではインスリン分泌の枯渇した重症の1型糖尿病の患者さんにだけ行われています。移植が盛んなアメリカです。このパイオ人工すい島を題ですが、すい臓移植・すい島(すいとん)移植という方法

インスリン復活、可能に

法があります。すい臓移植はドナー(臓器提供者)のすい臓全体を患者さんのお腹の中に移植します。すい島移植は、新しい移植技術や再生医学により、すい臓からインスリン産生細胞のある、すい島という部分だけを取り出して、患者さん

の肝臓に点滴で注入・移植する方法です。移植した、すい臓・すい島がうまく働くと、インスリン注射は不要になり

糖尿病を治す！ 移植・再生医療



この問題を解決するため、新しい移植技術や再生医学により、すい臓からインスリン産生細胞のある、すい島という部分だけを取り出して、患者さんの肝臓に点滴で注入・移植する方法です。移植した、すい臓・すい島がうまく働くと、インスリン注射は不要になり

で、糖やインスリンは通過するけれども、免疫システムで働く抗体や補体は通過できない免疫を遮断する人工膜を作って、この膜でブタのすい島を囲みこむ方法(パイオ人工すい島)が考案されています。このパイオ人工すい島を題ですが、すい臓移植・すい島(すいとん)移植という方法



理事・ほたるのセントラル内科院長、内田大学